学校番号	４０７

平成 31 年度　芸術〔音楽〕科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ２」　（教育芸術社）						
副教材等	高校生のための　新・楽典ワーク　（ドレミ楽譜出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・いろいろな集団でともに演奏する中で、コミュニケーションをとりながら自身の感性を磨き、感受性豊かに成長してほしいと思います。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情感豊かにで歌いあげよう！	【歌唱】 ハナミズキ 涙そうそう 上を向いて歩こう	○	○	○		a:それぞれの楽曲にあったイメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	器楽二重奏をしよう	【器楽】 アルトリコーダー二重奏 ソナタ 春	○		○		a:アルトリコーダーの演奏に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を正確に読み、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ミュージカルに親しもう	【鑑賞】 バレエ「白鳥の湖」 (チャイコフスキー)	○			○	a:音楽と物語の関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 明日へ(混声3)	○	○	○		a:曲想や歌詞の内容に関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	クラシックギターに親しもう	【器楽】 糸	○		○		a:クラシックギターの奏法に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を正確に読み、表現したいことを伝えるために必要なギターの基礎的な技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	クラシック音楽に親しもう	【鑑賞】 オペラ《トゥーランドット》から 誰も寝てはならぬ(プッチーニ) オペラ《リゴレット》から 女心の歌(ヴェルディ)	○			○	a:オペラに、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:「アリア」のそれぞれの表現上の効果を知覚、感受し、オペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
3学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 Amaging Grace（原語） 赤とんぼ てぃんさぐぬ花	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	グループ合奏をしよう	【器楽合奏】 オブラディ・オブラダ （ギターとリコーダーのグループ合奏）	○	○	○		a：リコーダーやギターの奏法の特徴に関心をもち、グループ合奏をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b：旋律・和音・リズムの特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 c：合奏をするために必要なリコーダーやギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。